

巻 頭 言

拠点リーダー 熊井英水

私共の 21 世紀 COE プログラム「クロマグロ等の魚類養殖産業支援型研究拠点」は、平成 15 年度に採択され、2 年が経過致しました。本拠点ではクロマグロをはじめとする有用魚種の高度養殖技術を確立し、世界的な魚類養殖産業の拡大・発展を推進するため、最高水準の研究教育拠点を形成し、有為な人材と情報を発信することを目的としております。

その内容としては、クロマグロを始めとする有用魚類の健全な発生と成長を支え、高効率生産技術の開発を目的とする水産増殖学、環境保全型養殖を実現するための水族環境学や海洋学、物理学的側面から養魚施設や魚の行動を解析する漁場学、魚肉の品質と安全性の向上を図る水産利用・栄養学、養殖魚の流通から養殖経済の発展を分析する水産経済学など、水産養殖業全体を網羅する産業支援型実践モデルの構築にあります。

特に近年、地中海沿岸諸国、日本、オーストラリア、メキシコ等を中心としたマグロの養殖・蓄養産業が急激に発展し、そのための原魚の大量捕獲が資源の枯渇を招いているとの批判が強まる中で、稀少・貴重なクロマグロ資源に対する保護対策がことさら強く求められています。

本研究拠点では、特にクロマグロ資源の保護・増強を目ざし、先に述べた各研究分野が互に連携を保ちながら所期の目的に向かって邁進しております。

ここにこれまでの中間成果を纏めご報告致します。今後共何卒ご支援たまわりますようお願い申し上げます。

平成 17 年 3 月